

IR REPORT

第60期 第2四半期報告書
2022年4月1日～2022年9月30日



ウェーブロックホールディングス株式会社
Wavelock Holdings Co., Ltd.

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

2023年3月期第2四半期(累計)の当社グループの業績は、売上高114億27百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益4億48百万円(同16.5%減)、経常利益6億55百万円(同6.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益22億89百万円(同328.7%増)となりました。

原材料費高騰の影響の一部につき価格転嫁をさせていただいたことや地中熱ビジネスの主体となる(株)エイゼンコーポレーションを当期から連結対象としていることにより売上高については前年同期比増収となりましたが、原材料費やその他のコストの増加、輸入商材への円安の影響等が重なることで利益を創出しにくい環境となっていることから、営業利益につきましては前年同期比大幅減益となりました。ただ、営業利益につきましてもほぼ業績予想通りの結果となり、非常に厳しい環境下で一定の成果を出すことができましたと感じております。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、クリアネイト(株)(旧(株)ウェーブロックインテリア)株式のすべてを譲渡し、特別利益を計上したことにより前年同期より大幅に増益となっております。

マテリアルソリューション事業については、防煙垂壁用高透明不燃シートが非常に堅調であったものの、住宅向け張替用防虫網等の主力製商品の不調や原材料費高騰の影響により、特に利益創出の観点からは非常に厳しい状況となっております。このような環境であるからこそ、原点に立ち戻って当社の強みを再認識し、当社の強みが活かせる分野や製商品に経営資源を集中すること、新しい分野への進出、顧客開拓等を通じて収益構造の変革を成し遂げる必要があると考えております。

アドバンステクノロジー事業については、特に金属調加飾フィルムに関して大きな成長の過程にあることを感じております。自動車向けの採用、特に北米エリアにおける自動車外装向けへの引き合いが非常に強くなってきております。これは、

自動車のEV化の加速等により当社のフィルムの持つ軽量化、環境負荷の低減、電波・光透過性といった特性に注目いただいている結果だと考えております。これらの技術的優位性を基盤とすれば、北米のみならず欧州や中国、EV化がこれから本格化する日本国内でも当社の存在感を増していく余地があると考えます。そのような少し先の状況もイメージした上で、生産能力増強や生産性向上のための投資もしっかりと実行してまいります。

当社グループにとって大きな存在であったインテリア事業を譲渡し、事業ポートフォリオの変革を推進していくファーストステージである中期3カ年計画も丁度半分が経過いたしました。事業環境の想定外の変化等もあり業績数値的には当初の計画から乖離が生じておりますが、事業における打ち手については一定以上の成果が見えつつあるものがいくつか出てきていると認識しております。グループ従業員一丸となり、将来の成長に向けた成果を積み上げていけるように精進してまいりますので、株主様におかれましては引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 兼 執行役員社長 石原 智憲

特集：自動車の内外装デザインのトレンドと当社の取り組み

現在、自動車業界は100年に一度の大変革の時代に入っているとされており、ガソリン車から電気自動車への移行とともに、安全性や快適性の向上が進んでいます。こうした自動車のトレンドの変化に、当社が提供する樹脂製品は大きく貢献しています。

自動車デザインのトレンド

外装は、車の顔であるフロントグリルに特徴をもたせるデザインが進化

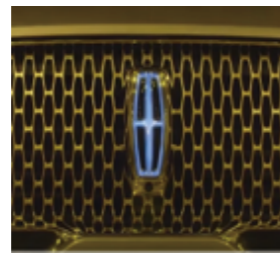
車の正面にあるフロントグリルは、メーカーのアイデンティティを表す「車の顔」とも言える重要なパーツです。自社のロゴを目立つように配置しブランドの知名度を高めることを目的としてデザインされるとともに、安全性を向上させるため、周囲の自動車や歩行者を検知する各種センサーの搭載が増えています。

例えば車の正面に配置されるエンブレムでは、金属調の樹脂パーツを採用することにより、高級感を出しつつ電波や光を透過することを可能とし、こうした安全性やデザイン面の変化を後押ししています。

また、ガソリン車ではエンジンの燃焼効率を上げるための吸気を行うためフロントグリルは網状になっていますが、電気自動車では吸気する機能は必要ないため、フロント部分が網状から加飾されたパネルへと変化しつつあります。



風は金属調のエンブレム



夜はロゴを光らせ周囲の人に見えやすくする

内装は、フロントパネル周りのディスプレイが大型化

自動車の内装については、電装化に伴う安全性の向上と運転手の負荷削減とともに、快適性の向上が図られています。スピードメーターなどの計器や操作部品はデジタル化が進み、ディスプレイ・タッチパネル類の電子パーツへと切り替わろうとしています。特に、ディスプレイ・タッチパネルは、運転手の前だけでなく助手席にまで広がるなど、大型化が進んでいます。また、運転席前方のフロントガラスに、走行速度や目的地までの道順など情報を表示するヘッドアップディスプレイも増加しています。

こうしたトレンドとともにディスプレイは曲面的なデザインが増えています。ガラスに比べて樹脂製品は加工性に優れ、曲面的な形状をつくるのが容易なため、樹脂製品の採用が増加しています。



助手席に広がるまで大型化した「インフォメーションディスプレイ」



フロントガラスに情報を表示する「ヘッドアップディスプレイ」も増加

当社の取り組み

外装 金属調加飾フィルム

メッキや金属と比較して遜色ない金属感を実現

当社の金属調加飾フィルムは、樹脂シートに特殊金属を蒸着したもので、メッキや金属と比較して遜色ない金属感を実現したシートです。加えて、メッキ等では対応が難しい光や電波を安定して透過できる点や、顧客の求める色調に応えることができる点が評価されています。

● 自動車への採用事例



ホイールキャップ ドアハンドル

また、製造工程における環境負荷がメッキや塗装と比較して低いため、メッキや塗装の代替工法としても注目されています。



インストルメントパネル



スイッチパネル

新興電気自動車メーカー「RIVIAN」のスキッドプレートに採用

当社の金属調加飾フィルムが北米の新興電気自動車メーカー「RIVIAN」のスキッドプレートの表皮材に採用されました。

世界で最も注目される新興電気自動車メーカーである「RIVIAN」に採用されたことで、業界における当社の注目度も急速に高まっ



おり、他自動車メーカーの一層の採用に向けた大きな追い風となっています。

ピックアップトラック[R1T]



SUV[R1S]

内装 高透明二層シート

ディスプレイを傷などから守る

高透明二層シートは、高透明性・高硬度・耐衝撃性を持つ樹脂シートです。自動車やモバイル機器などのディスプレイに貼ることで、視認性を損なうことなく、ディスプレイを傷などから守ることが可能です。

他社製品と比較して光学的な歪みが少なく、映像を正確に表示できることが最大の長特です。製造設備を自社開発するとともに、当社独自のフィルム成膜工法を用いることで、高い視認性を実現しました。こうした強みが評価され、高い品質が求められる自動車での採用が拡大しています。



ディスプレイに樹脂フィルムを貼ると虹ムラが発生する



当社独自の製造設備、フィルム成膜工法で虹ムラを解消

フォルクスワーゲン車のヘッドアップディスプレイに採用

当社の高透明二層シートがドイツの大手自動車メーカー「フォルクスワーゲン」の小型電気自動車「ID.3」、SUVタイプの電気自動車「ID.4」のヘッドアップディスプレイに採用されました。「ID.4」は2022年12月に日本市場への投入が計画されています。

自動車は人命に直結するものであり、採用する製品には高い品質が求められるため、当社の強みが最大限に活かせる分野です。さらなる受注実績の積み上げに向け、引き続き積極的な営業活動を展開していきます。



フォルクスワーゲン車のヘッドアップディスプレイ

採用の決め手!

塗装に比べ製造時のCO₂排出量が削減できること

デザイナーのこだわりである色調やデザインを実現できること

塗装と同等の耐久性を確保できること

採用の決め手!

ガラスよりも透明度が高いこと

映像の歪みや色の変化がなく、正確に映像を表示できること

ディスプレイ用途として必要な硬度を確保できること

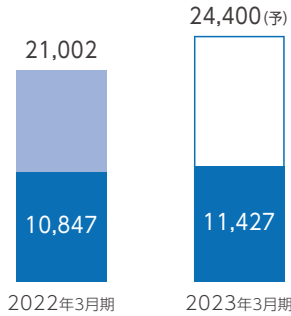
連結財務ハイライト

2023年3月期はクレアネイト(株)(旧(株)ウェーブロックインテリア)株式譲渡に伴う特別利益計上により、親会社株主に帰属する当期純利益が増加しております。

■ 第2四半期累計 □ 通期

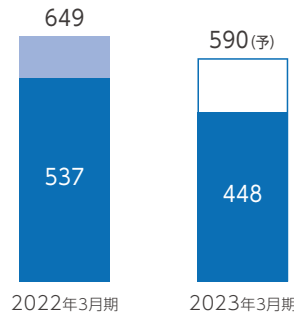
● 売上高

(単位:百万円)



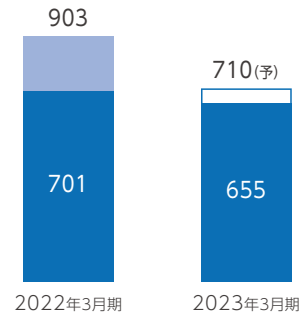
● 営業利益

(単位:百万円)



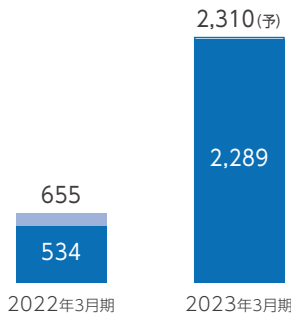
● 経常利益

(単位:百万円)



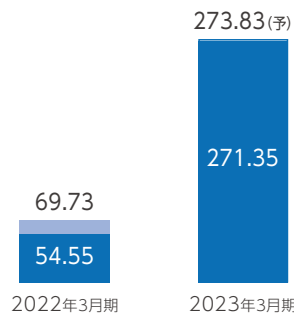
● 親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



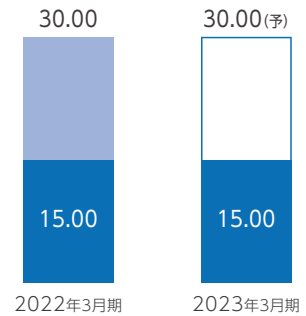
● 1株当たり当期純利益

(単位:円)



● 1株当たり配当金

(単位:円)



会社 / 投資家情報

● 会社概要

(2022年9月30日現在)

商号	ウェーブロックホールディングス株式会社 (Wavelock Holdings Co., Ltd.)
代表者	代表取締役兼執行役員社長 石原 智憲
設立	1964年(昭和39年)6月20日
事業内容	持株会社、グループ全体の戦略策定、 資源配分、経営管理
資本金	21億8,504万円
本社	〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー13F
従業員数	(単独)47人 (連結)620人
グループ会社	連結子会社11社/非連結子会社1社 持分法適用関連会社1社
主要事業会社	株式会社イノベックス(マテリアルソリューション事業) 株式会社ウェーブロック・アドバンス・テクノロジー (アドバンステクノロジー事業)

● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金	株主確定日 3月31日
中間配当金	株主確定日 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によっ て電子公告による公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載して行きます。な お、電子公告は当社のウェブサイトに掲載して おり、そのアドレスは次のとおりです。 https://www.wavelock-holdings.com/
お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合 は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ信託銀行* フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行*およびみずほ銀行 (みずほ証券では取次のみとなります)

* トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



ウェーブロックホールディングス株式会社
Wavelock Holdings Co., Ltd.

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問合せください。なお、みずほ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。